

## 第1号（報告事項）

### 平成26年度事業報告

#### 概要

1. 我が国の経済は、アベノミクスで様々な対策が実行されているものの好景気を実感することなく推移しているが、鶏卵・鶏肉の価格は、平成25年後半からは猛暑などの影響もあり近年にない高相場で推移してきている。ただ、鶏卵・鶏肉及び素ひなコストの大部分を占める配合飼料価格は、配合飼料の主原料である米国産とうもろこしが過去最高水準の豊作になると見込まれているものの、急激な円安の進展などから農家購入価格は高水準で推移しており、燃料費や生産資材費なども高騰し生産者の経営を圧迫している。

こうした中、種鶏孵卵業界は、一昨年後半から鶏卵・鶏肉価格が上昇したとは言うものの、飼料高等のコストアップ要因を依然として抱えていることに加え、生産費の上昇が適時適切に素ひな価格に反映されてこなかったこともあり、素ひな生産の経営環境は引き続き厳しい状況にある。

鳥インフルエンザについては、平成26年4月に熊本県で発生したが、迅速な対応により1事例のみで終息した。その後、秋から冬にかけて各地の野鳥等でA Iウイルスが確認され、12月以降、宮崎県、山口県、岡山県及び佐賀県において相次いで本病の発生が確認されたが、適時的確な防疫措置が行われたところである。海外ではアジア周辺諸国で依然として発生がみられており、我が国の種鶏ふ卵業においても引き続き厳格な衛生管理の徹底と防疫対応が必要とされる状況が継続している。

一方、我が国の原種鶏・種鶏の主な輸入先である米国や英国等において平成26年11月から高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生しており、我が国への侵入防止の観点から家きん等の輸入停止措置が頻繁に執られている。英国政府との間で協議されてきたコンパートメント制度については、技術的な情報交換会や現地調査が行われた結果、得られた知見を踏まえ本年3月25日の食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会で、英国での高病原性・低病原性鳥インフルエンザ発生時におけるコンパートメント施設からの種鶏初生ヒナの輸入を認めることについて適当である旨の答申が行われたところである。

平成26年度に実施した各事業の実施状況は次のとおり。

## I 公益目的事業

### 1 種鶏導入調査事業（種鶏安定供給情報提供等事業）（自主財源）

#### (1) レイヤー素ひな計画生産検討会・レイヤー孵卵部会・ひな育成部会

年度中に2回（平成26年7月10日（木）、平成27年2月19日（木））、検討会を開催して、レイヤーの種鶏導入実績及び種鶏導入計画を基に「平成26年及び平成27年の素ひな生産見込み等」について検討を行い、レイヤー素ひなの生産見込み羽数を公表した。

##### ○ 種鶏導入実績（平成26年1月～12月）

1, 120千羽（国内産種鶏1, 021千羽、輸入種鶏99千羽）

（対前年比95%）

#### (2) ブロイラー素ひな計画生産検討会・ブロイラー孵卵部会

年度中に2回（平成26年7月9日（水）、平成27年2月19日（木））、検討会を開催して、ブロイラーの種鶏導入実績及び種鶏導入計画を基に「平成26年及び平成27年の素ひな生産見込み等」について検討を行い、ブロイラー素ひなの生産見込み羽数を公表した。

##### ○ 種鶏導入実績（全国）（平成26年1月～12月）

4, 941千羽（国内産種鶏4, 827千羽、輸入種鶏114千羽）

（対前年比99%）

### 2 鶏ひなふ化羽数調査事業（種鶏安定供給情報提供等事業）（JRA・自主財源）

#### (1) 鶏ひなふ化羽数データ収集調査

毎月全国のふ卵場（100か所、うちレイヤー31ふ卵場、ブロイラー69ふ卵場）を対象に実施。レイヤーについては採卵用めすの素ひな出荷・え付け羽数。ブロイラーについては、ブロイラー用素ひなの出荷・え付け羽数について都道府県別え付け羽数を調査。

#### (2) 鶏ひなふ化羽数データの公表

調査結果は、毎月概要としてホームページに公表するとともに、調査協力ふ卵場に情報提供した。併せて、年次ごとに年報として取りまとめ公表。

#### (3) 素ひな出荷・え付け羽数実績（全国）（平成26年1月～12月）

○ 採卵用めすえ付け羽数：100, 377千羽（対前年比105.1%）

○ ブロイラー用え付け羽数：693, 808千羽（対前年比101.1%）

### 3 鶏卵・鶏肉の消費促進事業（自主財源）

#### （1）鳥インフルエンザ対策・鶏卵消費促進事業（（一社）日本養鶏協会）

（一社）日本養鶏協会が実施する「国産鶏卵に関する普及啓発事業」について  
レイヤー会員からの拠出金（組織強化費から充当）を負担金として拠出して協力。

主な事業：「いいたまごの日」

#### （2）全国鶏肉消費促進協議会に対して協力負担金を拠出して協力。

全国鶏肉消費促進協議会（事務局：（一社）日本食鳥協会）

主な事業：国産チキン祭りへの後援及び助成

構成団体：（協）日本飼料工業会、全国農業協同組合連合会、  
（一社）日本養鶏協会、（一社）日本種鶏孵卵協会、  
（一社）日本食鳥協会

### 4 種鶏安定供給情報提供等事業（JRA・自主財源）

#### （1）種鶏安定供給情報提供等事業推進委員会の開催

（開催期日：平成27年3月4日（水））

平成26年度種鶏安定供給情報提供等事業の達成目標等について、自己評価結果の検証等を実施。

### 5 良質種鶏安定供給システム構築事業（JRA助成事業）（平成26年度新規）

#### （1）良質種鶏安定供給システム構築事業 事業推進委員会

##### ① 委員構成

中村 政幸：（一財）生物科学安全研究所 参与

山口 成夫：（公社）畜産技術協会 参与

山本 満祥：（株）山本養鶏孵化場 代表取締役社長

渡邊 周治：（株）ゲン・コーポレーション 代表取締役社長

##### ② 事業推進委員会の開催

###### i 第1回事業推進委員会

開催期日：平成26年5月29日（木）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

1) 良質種鶏安定供給システム構築事業の概要及び仕組み

2) 平成26年度良質種鶏安定供給システム構築事業の実施計画

3) その他

ii 第2回事業推進委員会

開催期日：平成27年3月26日（木）

協議事項：

- 1) 平成26年度良質種鶏安定供給システム構築事業の実施状況
- 2) 平成27年度良質種鶏安定供給システム構築事業の実施計画
- 3) その他

(2) 良質種鶏安定供給システム構築事業 専門委員会

① 委員構成

中村 政幸：（一財）生物科学安全研究所 参与

山口 成夫：（公社）畜産技術協会 参与

筒井真理子：（独）家畜改良センター岡崎牧場 次長

塩谷 暁夫：エンヤ家畜診療所 獣医師

山本 満祥：(株)山本養鶏孵化場 代表取締役社長

宮古 厚博：プライフーズ(株)生産製造本部種鶏孵卵室 室長

② 専門委員会の開催

i 第1回専門委員会

開催期日：平成26年7月8日（火）

開催場所：馬事畜産会館

協議事項：

- 1) 良質種鶏安定供給システム構築事業の概要及び仕組み
- 2) 平成26年度良質種鶏安定供給システム構築事業の実施計画
- 3) その他

ii 第2回専門委員会

開催期日：平成27年3月3日（火）

協議事項：

- 1) 平成26年度良質種鶏安定供給システム構築事業の実施状況
- 2) 平成27年度良質種鶏安定供給システム構築事業の実施計画
- 3) その他

(3) 良質種鶏安定供給システム構築事業 アンケート調査の実施

全国の種鶏ふ卵場（100か所）を対象に実施。

(4) 良質種鶏安定供給システム構築事業 現地調査の実施

4ヶ所の種鶏孵卵場（レイヤー2ヶ所、ブロイラー2ヶ所）について、現地調査を実施し、細菌検査のためのサンプリングも実施。

Ⅱ 種鶏孵卵経営対策事業（自主財源事業）

1 種鶏・ふ卵経営セミナー事業

テーマ：種鶏場及びふ卵場を巡る情勢（衛生環境）

開催期日：平成27年2月19日（木）

場 所：馬事畜産会館 会議室

参加者：57名

演題及び講師

○ 鳥インフルエンザを巡る情勢

向本 雅郁(むかもと まさふみ)先生（大阪府立大学感染症制御学講座教授）

○ 鶏舎におけるネズミ対策

松林 誠 先生（動物衛生研究所 主任研究員）

○ ワクモ対策

村野 多可子 先生（全農家畜衛生研究所）

2 地域協議会等組織強化対策事業

(1) 地域協議会

① 関東甲信越レイヤー孵卵協議会

i 通常総会

開催期日：平成26年4月10日（木）

場 所：馬事畜産会館

議 題：(1) 平成25年度事業報告及び決算報告

(2) 平成26年度事業計画及び予算案

(3) 組織改正

(4) 役員改選について

(5) 出席会員：6社、6名

事務局から米田常務出席

② 東日本レイヤー孵卵協議会

(北日本レイヤー孵卵協議会と統合、東日本レイヤー孵卵協議会に名称変更)

i 協議会

開催期日：平成26年10月21日（火）～平成26年10月22日（水）

場 所：大沢温泉山水閣（岩手県花巻市湯口字大沢181）

議 題：(1) 協会事業  
(2) 鳥インフルエンザ関連  
(3) 鶏卵を巡る情勢  
(4) 地域情勢報告・意見交換  
(5) その他

(参加者) 8名（うち事務局1名）

③ 中部レイヤー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成26年5月14日（水）

会 場：心の味 のむら（岐阜市三番町1）

議 題：(1) 役員改選  
(2) 平成25年度事業報告及び収支決算承認  
(3) 平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)

参加者：4名（4社）

④ 九州・四国レイヤー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成26年6月24日（火）

会 場：ハynesホテル久留米（久留米市天神1-6）

議 題：(1) 平成25年度事業報告及び収支決算に関する件  
(2) 平成26年度事業計画案及び収支予算案承認の件  
(3) 役員改選の件

参加会員：8名（7社）

⑤ 東日本ブローラー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成26年4月11日（金）

場 所：馬事畜産会館

出席会員：会員11社、委任状10社 計21社（会員数23）

参加者12名（事務局含む）

- 議 題：(1) 平成25年度事業報告及び決算報告  
(2) 平成26年度事業計画及び予算案  
(3) 組織改正  
(4) 役員改選について  
(5) その他

ii 地域協議会

開催期日：平成26年9月25日（木）

場 所：メルパルク京都（京都市下京区東洞院通東塩小路676番13）

- 議 題：(1) 協会事業  
(2) 鳥インフルエンザ関連  
(3) 鶏肉を巡る情勢  
(4) 地域情勢報告・意見交換  
(5) その他  
(参加者) 12名（うち事務局1名）

⑥ 中国・四国ブロイラー孵卵協議会

i 総会

開催期日：平成26年7月15日（火）

場 所：アークホテル岡山（岡山市北区下石井2丁目6-1）

参加者：13名（9社）

- 議 題：(1) 事業報告及び決算承認の件  
(2) 中央情勢報告

ii 中国・四国、九州合同臨時総会

開催期日：平成26年11月27日（木）

場 所：碧翠御苑（京都府京丹後市久美浜町湊宮1452）

参加者：19名（13社）

- 議 題：(1) 合併時期及び合併後の名称について  
(2) 会長選出について  
(3) 事務局について

(2) 各部会の開催状況

① 原種鶏部会

i 総会

開催日：平成26年7月23日（水）

場 所：かんすい苑 覚楽（栃木県那須塩原市黒磯402-2）

議 題：(1)平成25年度事業報告及び決算報告

(2)平成26年度事業計画及び予算(案)

(3)海外におけるAI発生とひなの輸入検疫問題について

出席者：12名（原種鶏部会は7社）

ゲスト参加：山本満祥（日本種鶏孵卵協会会長）

山本貴康（株山本養鶏孵化場）

事務局：米田勝紀（日本種鶏孵卵協会常務理事）

ii 原種鶏部会「動物衛生課及び動物検疫所との情報交換会」

開催日：平成26年9月10日（水）13：00～17：15

場 所：動物検疫所羽田空港支所会議室（東京都大田区羽田空港2-6-4）

訪問者：森永 浩二（原種鶏部会長：株日本チャンキー）

後藤 直樹（株アイエスエージャパン）

渡邊 周治（株ゲン・コーポレーション）

山本 光夫（株ヤマモト）

大角 岩雄（株松阪ファーム）

奥山 海平（東西産業貿易株）

大畑 信之（株日本シェーバー）

角田 和弘（株ゲン・コーポレーション）

小久保英明（株日本チャンキー）

古賀日香理（株日本チャンキー）

米田 勝紀（(一社)日本種鶏孵卵協会）

○ 農林水産省側

珠玖 知志（消費・安全局動物衛生課 課長補佐）

○ 動物検疫所側

小倉 弘明（動物検疫所長）

瀬戸 秀佳（調整指導官）

鎌川 浩之（企画管理部長）

竹川 正興（企画管理部企画調整課主任検疫官）



小野田 裕（羽田空港支所長）

吉田 和弘（羽田空港支所次長）

- 協議事項：(1) 海外における地域主義の導入に向けての動き  
(2) 輸入解禁についての進捗状況  
(3) 初生ひなの輸入検疫上の諸問題について  
(4) 羽田空港視察（貨物取扱地区TACT）

② 国産鶏普及協議会

i 総会

開催期日：平成26年7月1日（火）

場 所：馬事畜産会館 会議室 出席会員：7社

参加者：25名

（会員7名、来賓5名、優良農家4名、報道6社、事務局3名）

議 題：\*平成25年度事業報告及び収支決算報告

\*平成26年度事業計画及び予算案

\*役員の変更

ii 記念事業

開催期日：平成26年7月1日（火）

場 所：馬事畜産会館 会議室

◎ 国産鶏飼養優良経営農家表彰事業：

採卵鶏部門：① 農事組合法人 黒富士農場 代表 向山 茂徳  
（山梨県甲斐市上芦沢1316）

同 ② 株式会社 太田商店 専務取締役 原 祥雅  
（愛知県岡崎市福岡町字北裏25-2）

肉用鶏部門：① 有限会社 稲垣ブロイラー  
（愛知県豊橋市石巻中山町字大門27）

② 岐阜アグリフーズ株式会社塔之洞農場生産部長 富田勝彦  
（岐阜県関市塔之洞籠屋2737）

◎ 意見交換会

\*「新たな日本の鶏（新品種・新銘柄）開発の可能性」

講 師：山本 洋一（（独）家畜改良センター 岡崎牧場長）

\*「国産鶏種の現状と今後への一考察」

講 師：松本 博紀（（独）家畜改良センター 兵庫牧場長）

iii 現地研修会（平成26年11月11日（火）～11月12日（水））

1) 平成26年11月11日（火）

場所：カジュアルダイニング トリィ（長野県松本市桐1）

演題&講師：

「国産鶏と六次産業化」

小松 伸好（株小松種鶏場 代表取締役社長）

「フランスにおける銘柄鶏（カラー鶏）事情」

山本 洋一（（独）家畜改良センター岡崎牧場長）

「地鶏・国産鶏種の抱える課題と今後の対応方向」

松本 博紀（（独）家畜改良センター兵庫牧場長）

2) 平成26年11月12日（水）

場所：農事組合法人 会田共同養鶏組合、たまごの駅（視察）

内容：

- ・上村組合長挨拶
- ・中島会長講話

iv 平成26年度鶏改良推進中央協議会（（独）家畜改良センター主催）

開催期日：平成26年9月18日（木）

場 所：じばさんびる（姫路市）

出席会員：8名 参加者：97名

議 題：\* 中央情勢報告

\* 鶏改良増殖に関する取り組み状況

\* 国産鶏種の定義の明確化、普及戦略に関する意見交換

v 国産鶏種普及促進ネットワーク（国鶏ネット）設立会議の開催

開催期日：平成26年9月19日（金）

場 所：姫路市

出席会員：9名 参加者：117名

### 3 平成26年度定時総会・理事会等の開催概要

#### (1) 第39回定時総会

開催日時：平成26年5月9日（金）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席会員：

総会員83名中、出席会員29名、委任状出席30名、書面議決者19名、計78名  
議 題：

第1号報告事項：平成25年度事業報告

第2号決議事項：平成25年度貸借対照表及び正味財産増減計算書

第3号報告事項：平成26年度事業計画及び平成26年度正味財産増減予算書

第4号報告事項：平成25年度公益目的支出計画実施報告書

第5号決議事項：平成26年度会費の額及び徴収方法

第6号決議事項：平成26年度借入金最高限度額

第7号決議事項：理事及び監事の報酬の額及び支給基準

第8号決議事項：定款の一部改正

第9号決議事項：役員を選任

〔記念講演〕 演題：「我が国における飼料を巡る情勢」

講師：相田 剛伸（農林水産省生産局畜産部畜産振興課 課長補佐）

#### (2) 協会運営事項

##### ① 平成25年度（一社）日本種鶏孵卵協会事業・会計監査

開催日：平成26年4月10日（木）

場 所：（一社）日本種鶏孵卵協会 事務局

監 事：都丸 高志 山上 祐一郎

会 長：山本 満祥

監査事項：\* 平成25年度事業報告

\* 平成26年度収支決算及び貸借対照表、正味財産増減計算書、  
財産目録

\* 監査講評

##### ② 理事会（理事・監事）

###### i 第1回理事会

開催日時：平成26年4月22日（火）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：理事12名（総理事18名） 監事2名

協議事項：

○第39回定時総会の招集日時と場所について

○組織改正案の承認について

○第39回定時総会提出議案について

第1号報告事項：平成25年度事業報告

第2号決議事項：平成25年度貸借対照表及び正味財産増減計算書

第3号報告事項：平成26年度事業計画及び平成26年度正味財産増減予算書

第4号報告事項：平成25年度公益目的支出計画実施報告書

第5号決議事項：平成26年度会費の額及び徴収方法

第6号決議事項：平成26年度借入金最高限度額

第7号決議事項：理事及び監事の報酬の額及び支給基準

第8号決議事項：定款の一部改正

第9号決議事項：役員を選任

○JRA畜産振興事業について

○会員の異動状況について

○平成26年度第2回役員会及び平成26年度第1回素ひな計画生産検討会の日程

## ii 第2回理事会

開催日時：平成26年5月9日（金）

場 所：馬事畜産会館 協会事務室

出席理事・監事：理事11名（総理事15名、監事2名）

協議事項：会長理事、副会長理事、常務理事の選出

## iii 第3回理事会

開催日時：平成26年7月10日（水）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：理事15名（総理事15名、監事2名）

協議事項：

○平成26年度事業の推進について

○「良質種鶏安定供給システム構築事業」について

○協会創立40周年記念事業について

○その他

○講演

「鶏の改良増殖目標について」

宮田 透（農林水産省生産局畜産部畜産振興課課長補佐）

iv 第4回理事会

開催日時：平成27年2月18日（水）

場 所：馬事畜産会館 会議室

出席理事・監事：役員16名（総理事14名、監事2名）

協議事項：

- 第40回定時総会提出議案のうち
  - ・平成26年度事業報告及び決算見込みについて
  - ・平成27年度事業計画及び予算（案）について
- JRA助成事業の新規要求（案）について
- その他

③ 正副会長会議

i 第1回正副会長会議

開催日時：平成26年4月22日（火）

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：理事会審議事項について  
第39回定時総会について  
組織強化問題について

ii 第2回正副会長会議

開催日時：平成26年7月9日（水）

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：理事会審議事項について

ii 第3回正副会長会議

開催日時：平成27年2月18日（水）

場 所：馬事畜産会館 会議室

協議事項：理事会審議事項について